学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.71

「いい年をして･･･」ではなくて「いい年だから」こその音楽祭?!

東京大学教育学研究科博士課程１年
松本（まつもと） 奈々子（ななこ）（大阪府箕面市出身）

私がこのタイトルにあるキャッチコピーに触発され、「華齢なる音楽祭」に関わるきっかけとなったのは、4年前の飯田フィールドスタディでした。高齢であることを隠すのではなく、むしろ自分たちで「華齢」という言葉をつくり、新たな高齢者のあり方を体現しようという理念と、それが地域での活動として実現されてきたという事実に驚いたこと、さらにその舞台である「飯田」という地域に深く関心を抱いたことを鮮明に覚えています。

私は現在、社会教育学･生涯学習論の研究室に所属し、華齢なる音楽祭に関わりながら、「高齢社会」における高齢者の社会参加活動について研究しています。私を温かく迎え入れ、インタビューや活動の見学にご協力いただいた皆さんに、とても感謝しています。これからも飯田で出会い、驚き、学び続けたいと思っています。

実行委員会の会議風景